

## 環境負荷削減効果の換算(1)

※全量埋立した場合と比較した数値

温室効果ガス(GHG)排出量削減効果

※2021年度より、CO<sub>2</sub>排出量削減効果について、評価原単位を変更し、GHG排出量削減量として算出

◎ EJRSでリサイクルをするとGHG排出量は	10,085 t/年
もし、リサイクルしなかったらGHG排出量は	32,233 t/年

差



◆ GHG排出量削減効果  
**22,148 t-CO<sub>2</sub>eq/年※**

※CO<sub>2</sub>eq:  
温室効果ガスのCO<sub>2</sub>換算値

森林面積にすると約63km<sup>2</sup>

東京ドーム(0.047km<sup>2</sup>)の約1,349倍の面積に相当

※森林のCO<sub>2</sub>吸収量 349t/km<sup>2</sup>・年

(リサイクルをすることにより69%削減)



埋立処分量削減効果

◎ EJRSでリサイクルをすると埋立処分量は	100 t/年
もし、リサイクルしなかったら埋立処分量は	13,342 t/年

差



● 埋立処分量削減効果  
**13,242 t/年**

(リサイクルをすることにより99%削減)



栗原市の人口(63,962人)が1年間に排出する  
ゴミ埋立量の約7.2倍になる。

※日本人のゴミ埋立量:28.8kg/年・人 [R4年度環境白書(環境省)より]  
※栗原市の人口は栗原市HPに記載の2022年4月末現在の値を引用

## 環境負荷削減効果の換算(2)

※全量埋立した場合と比較した数値

回収素材	再生素材重量(t)
鉄スクラップ	6,027
銅スクラップ	745
アルミスクラップ	472

鉄スクラップを



自動車に換算すると約7,343台

※自動車に使用される鉄 820.7kg/台



銅スクラップを奈良の大仏にすると約1.5体

※奈良の大仏に使用される銅 499t/体



アルミスクラップを350mlアルミ缶に換算すると約2,948万本

※アルミ缶重量 16g/缶

家電リサイクルを行うことによるエネルギー使用量削減効果	6,849 t-原油/年
樹脂再生による原油使用量の削減	2,281 t-原油/年

合計



▲ 原油使用量の削減効果  
**9,130 t-原油/年**



2,585人が1年間に使用するエネルギー量相当

※日本人1人あたりのエネルギー使用量:3.532t-原油/年  
資源エネルギー庁「エネルギー白書(2021年)」より引用